

科目番号	53007	分類	専門科目 看護基礎科学領域	履修者	看護科学コース	学年	1
科目名	看護教育学特論Ⅰ (Advanced Course in Nursing Education 1)						1
							配当シスター
担当者	○岩本 郁子・浦中 桂一			区分	選択	単位	2
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連	
<p>看護教育学は、看護学教育における教育制度、教育課程、教育方法、教育評価などを研究対象とし看護職の人材育成・キャリア開発に関わり、看護学の発展、看護の質の向上を目指す学問領域である。看護は看護職者による実践科学であるため、自律性が高く社会のニーズに対応できる看護専門職者の育成に対する看護基礎教育および卒後教育への期待は大きく、重要な役割を担う。そこで、現在の日本における看護学教育について、教育制度、教育内容・教育方法・教育評価、継続教育などに着目して分析し、考察を深める。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護学教育の対象、および関連する用語について理解する。 日本における看護教育制度の歴史的変遷とその特徴、卒後教育および継続教育の現状から今後の看護学教育の課題を考察する。 						○	1. 看護学の継承・発展を担うための研鑽力
						○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
						○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
							4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力
						○	5. 実践を行いつつながら学生の臨床実習を指導できる能力
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	オリエンテーション 1. 看護教育学とは						岩本
第2回	2. 看護学教育と教育制度						岩本
第3～8回	3. 日本における教育制度の歴史的変遷とその特徴・課題						岩本
第8～10回	4. 日本の卒後教育および継続教育の現状と課題 ジェネラリスト・ナースとスペシャリスト・ナースの育成						
第11～15回	5. 日本における看護学教育の課題						岩本 浦中
事前・事後学習	事前学習：授業内容に必要な資料を復唱する。また場合によってはレポートを課す。 事後学習：配布資料・文献等を復唱する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。						
評価の方法	授業参加度 20% プレゼンテーション内容 40% 課題レポート 40% フィードバック（意見交換・プレゼンテーションの総評、課題レポートの総評等）は適宜行う。						
参考図書 ・資料等	<ul style="list-style-type: none"> 杉森みど理ほか：看護教育学 第6版増補版 医学書院2016 平尾真智子：資料に見る日本看護教育史、看護の科学社、1999. 参考書・資料は適宜に紹介する。						
備 考	ゼミナール形式。学生からの希望により内容を変更する。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						